

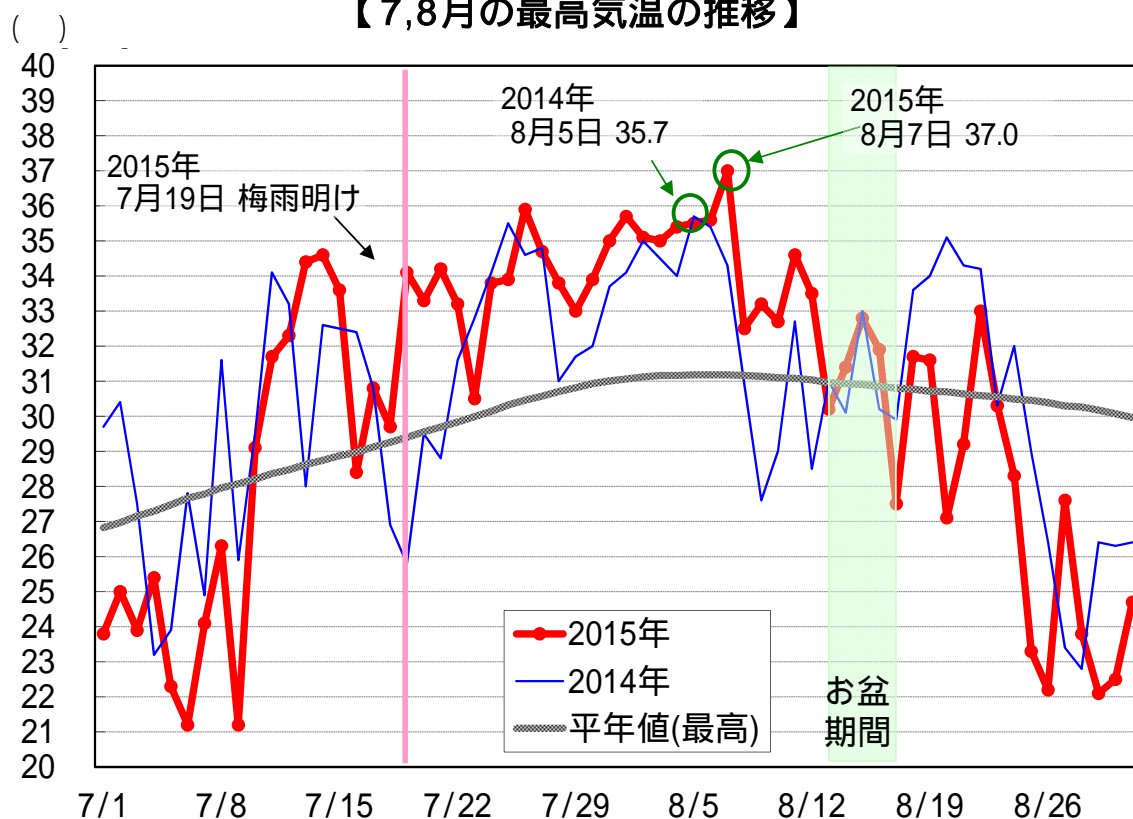


今夏の電力需給の概要について

2015年9月25日
東京電力株式会社

- ・ 梅雨明け(7月19日頃)後、8月上旬に高気温が発生したが、その他の期間では平年を下回る日が多かった
- ・ 最高気温¹は8月7日(金)の37.0²で、前年8月5日(火)に発生した35.7と比べて+1.3となった
 - 1 最高気温は、当社サービスエリア内の加重平均値
 - 2 過去47年間で第5位の高気温

【7,8月の最高気温の推移】

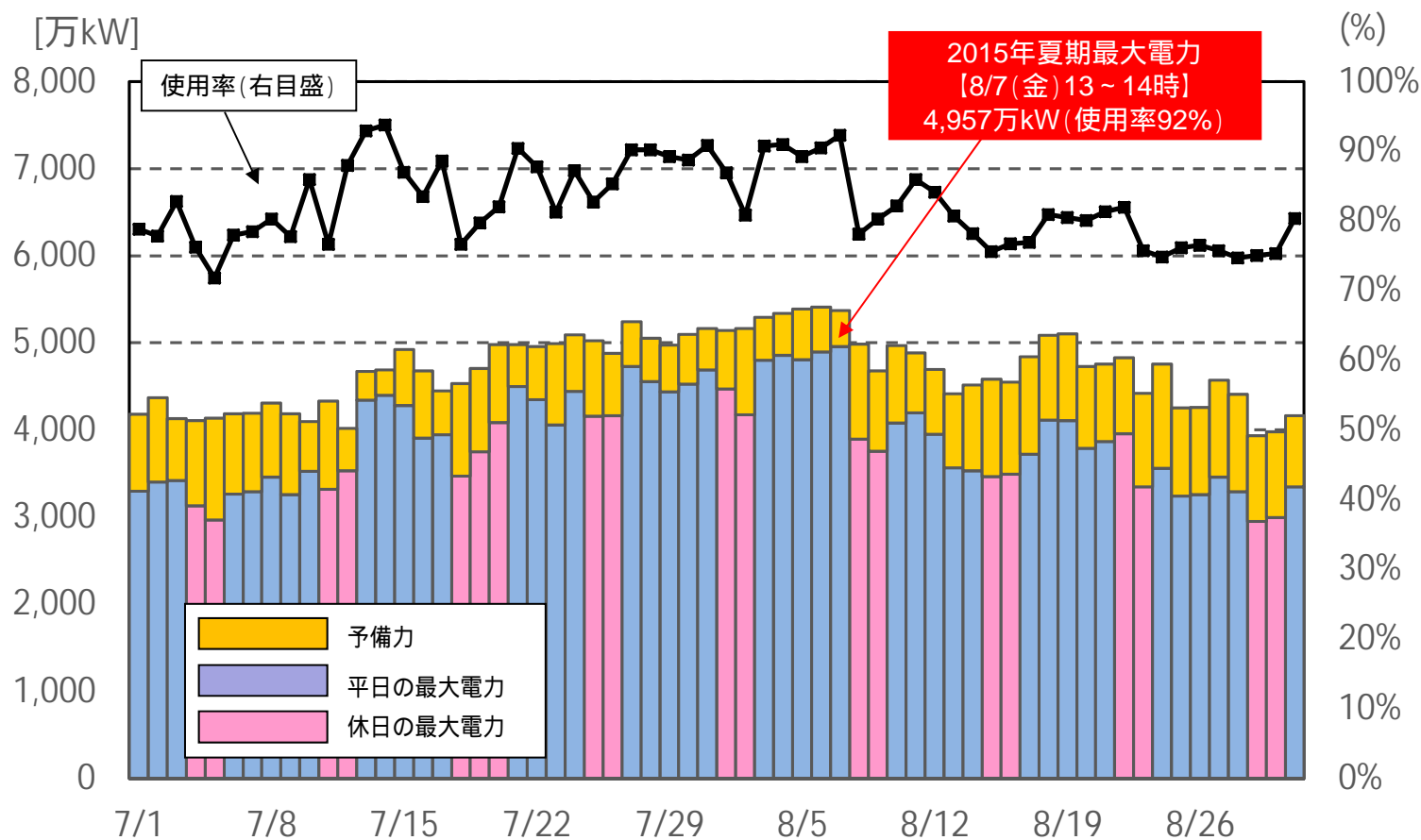


【最高気温(月平均)の比較】

	月平均	
	7月	8月
2015年	30.2	30.5
2014年	30.3	31.0
2013年	30.9	33.0
2012年	30.1	33.1
2010年	31.5	33.4
平年	29.1	30.9
2014年差	0.1	0.5
2013年差	0.7	2.5
2012年差	0.1	2.6
2010年差	1.3	2.9
平年差	1.1	0.4

2015年梅雨明け: 7月19日頃
〔平年(7月21日頃)並み〕

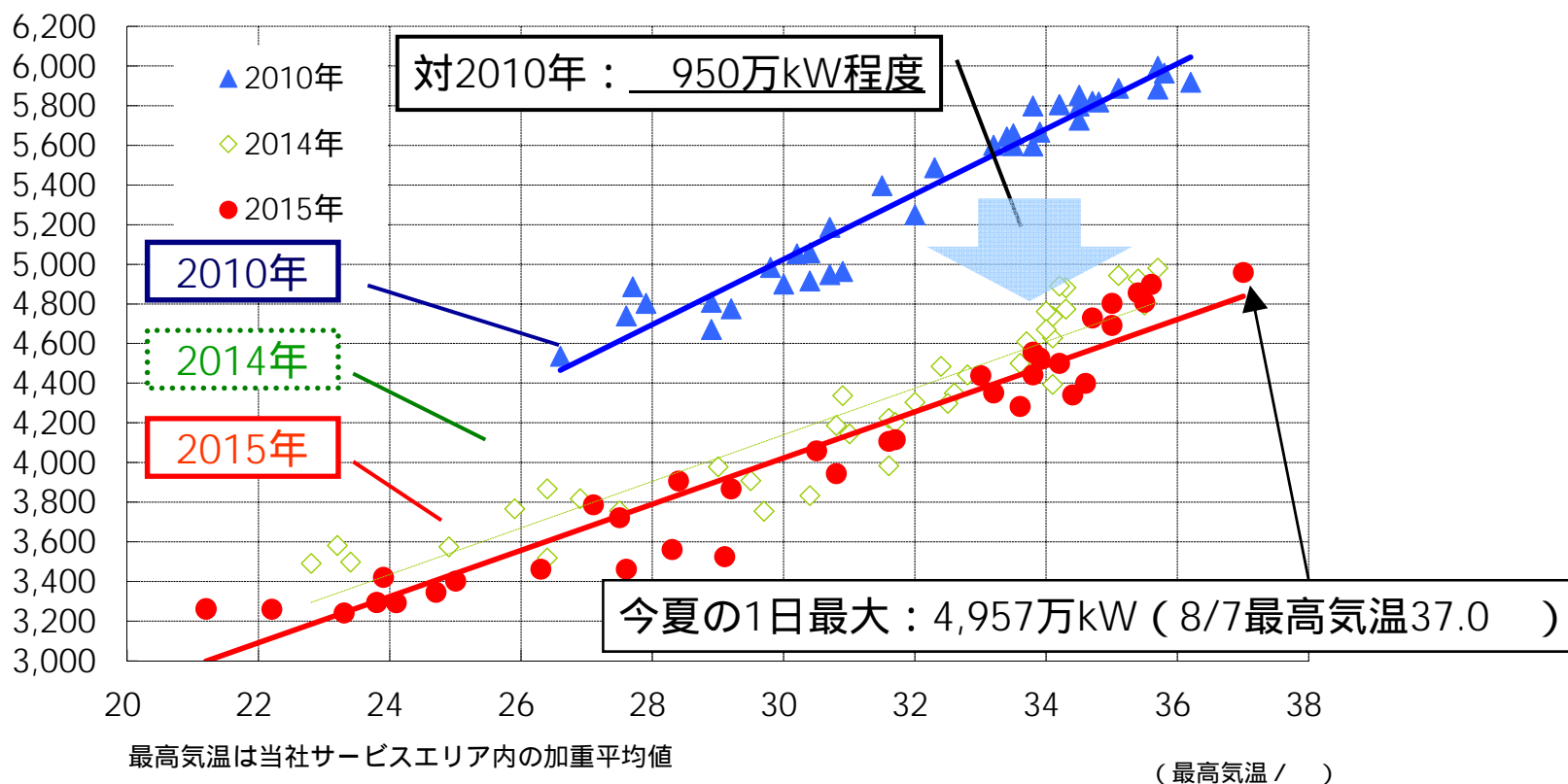
- ・ 今夏の最大電力(発電端1日最大)は、8月7日(金)に記録した4,957万kW
【最高気温(当社サービスエリア内の加重平均値):37.0、供給力:5,371万kW】
- ・ 今夏の最大電力は、前年実績を23万kW下回った【前年最大は8月5日(火)4,980万kW、35.7】
- ・ 今夏の最大使用率は、7月14日(火)の93%【最大電力:4,398万kW、供給力:4,692万kW】
- ・ 使用率が90%以上になったのは、7月~8月で10日間



- ・ 今夏の最大電力は、今夏で一番の高気温(最高気温37.0)を記録した8月7日(金)の4,957万kW【2010年実績(5,999万kW)に対しては 1,042万kW、前年実績(4,980万kW)に対しては 23万kW】
- ・ 今夏の最大電力(平日平均)は、震災前2010年を 950万kW程度下回る水準
7月～8月の平日平均(お盆期間を除く)

【最高気温と最大電力(発電端)】

(最大電力/万kW)





今夏最大電力発生日の需給状況

- ・ 皆さまにご協力いただいている節電の効果などにより、安定供給を確保
- ・ 需要は当初見通しを下回ったものの、火力増出力の不実施・電源の計画外停止等により使用率は92%を記録

		8月需給見通し (5/22公表)	最大需要発生日 実績(8/7)	(差異)	備考
供給力 - 需要[万kW] 使用率(予備率)		560 90%(11.0%)	414 92%(8.3%)	-	
需 要 (発電端1日最大) [万kW]		5,090	4,957	133	
供給力 [万kW]		5,650	5,371	279	
自 社	原子力	0	0	0	
	火力	3,771	3,384	387	・補修(千葉3-3軸、川崎1-1軸他)、増出力の不実施等
	水力	126	111	15	・出水状況による減
	揚水(揚水は自社・他社の合計)	920	847	73	・運用状況による減
	地熱・太陽光・風力	1	1	0	
他社受電		832	1,028	196	・他社太陽光の受電増等
(太陽光・風力再掲)		122	377	255	

【参考】最大電力発生日の需給状況(2010,2015年)

- 震災後は、節電の効果などにより需要の減少はあるものの、原子力発電の停止により、火力発電の高稼働で供給力を確保している状況

